

第6回 地域医療シンポジウム in 奄美

2013年11月29日(金)

於:大島郡医師会館 (奄美市名瀬塩浜町)

鹿児島大学では、地域医療の推進のために、医師の修学／就労支援をサポートする、「離島へき地医療人育成センター」を文部科学省の指導のもと運営致しており、6年目になります。今年も、大島郡医師会の協賛により、「地域医療シンポジウムin 奄美」を奄美市名瀬にて開催致しました。「地域医療教育の秘訣～何をどう学んでもらうか、その方法は？～」という演題で北海道大学病院地域医療指導医支援センター 特任准教授 卒後臨床研修センター 副センター長 宮田靖志先生にご講演いただきました。今回は初めての試みとして大島郡医師会の協力のもと、インターネット中継を行いました。徳之島、沖永良部島、与論島の医療機関と中継を結び、質疑応答などもやり取りができ、有意義な時間となりました。医療関係の方、一般・行政の方など多数ご参加くださり大盛況でした。

-プログラム-

日 時:平成25年11月29日(金曜日) 19:00～20:30

場 所:大島郡医師会館

講演1:「地域医療教育の秘訣」～何をどう学んでもらうか、その方法は？～

北海道大学病院 地域医療指導医支援センター 特任准教授

卒後臨床研修センター 副センター長

宮田靖志 先生

座 長:嶽崎 俊郎 (鹿児島大学 離島へき地医療人育成センター センター長)

主 催:鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター

後 援:鹿児島県大島郡医師会、鹿児島県医師会



講演:宮田靖志先生



質疑の様子